

3 スクリーン製品・ガラスブロックの参考施工例

デュオスクリーン／ガラスブロック／ブロッサムスクリーン

[スクリーン製品・ガラスブロック]カラーページP.86～89

〈 施工上の注意 〉

各種スクリーン製品とガラスブロックは、商品形状の違いから配筋可能な位置が異なります。以下の参考施工例を参考に、正しく配筋設計を行ってください。

※下記を超えて使用する場合は、構造物(RC等)で囲むか、組積造の範囲で施工を行ってください。

表3-1 配筋可能な方向と最大使用個数

	配筋可能な方向	最大連続個数(方向)
デュオスクリーン	3	—
ガラスブロック	0	2(ヨコ2)
ブロッサムスクリーン	4	—

※ブロッサムスクリーンの参考施工例は本カタログP.88をご覧ください。

〈 デュオスクリーンの参考施工例 〉

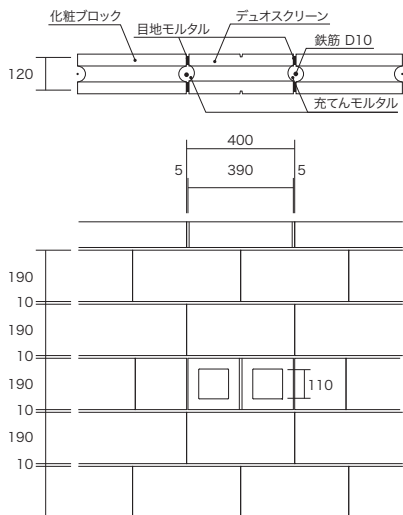


図3-1 デュオスクリーンの参考施工例

〈 ガラスブロックの施工方法 〉

本施工方法は、コンクリートブロックまたはレンガにガラスブロックをモルタルで固定する場合のものです。その他の材料に取り付ける場合は、ガラスブロックのメーカー施工要領に従い施工してください。

- ・ガラスブロック1個につき1枚、側面に専用エキスパンション材(5mm厚)を巻いてください。ガラスブロックには配筋溝が無いため、縦筋、横筋の入る位置には使用しないでください。また、連続使用はヨコ方向に2個までとしてください。
- ・納まりの出入りでは、コンクリートブロック断面のセンター位置とガラスブロック断面のセンター位置を合わせてください。
- ・ガラスブロック施工時のモルタルは「パサトロ」とし、次の比率で調合してください。

セメント 1 : 砂 4 : 水 0.4 (容積比)

- ・コンクリートブロックとガラスブロックの取り合い部分の仕上げは、市販の「シーリング剤」を必ず使用してください。

〈 ガラスブロックの参考施工例 〉

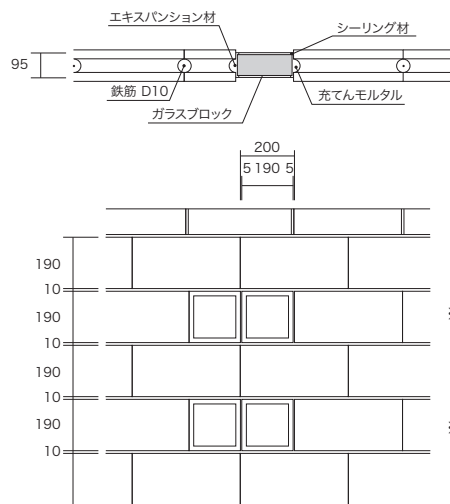


図3-2 ガラスブロックの参考施工例